

女子第2部

女子第2部は、昨年初出場ながらエース立山の大活躍で優勝を成し遂げたフォーリーフジャパンが、彼女に加え世界選手権大会代表の松本を得て連覇を目指す。これを昨年の第1部から第2部にエントリーしたヤックスケアサービスや初出場ながら有力新人で固めたJR東日本グループが追う展開となった。

準決勝戦第1試合

フォーリーフジャパン	-	1	JR東日本グループ
(先鋒) 松本 薫 2段	優勢勝	⊖	上原 円 3段
(中堅) 川上 由貴 3段	引分		小島 佑香 3段
(大将) 立山 真衣 3段	大外刈		杉本 明日翔 3段

準決勝戦第2試合

ALSOK 群馬総合ガードシステム0	-	3	ヤックスケアサービス
(先鋒) 阿部 千里 2段	上四方固		橋本 奈実 3段
(中堅) 箱田 明日香 2段	縦四方固		相澤 実希 2段
(大将) 平岩 真実 2段	上四方固		島本 裕子 2段

決勝戦

決勝戦は、準決勝戦を大将立山の一本勝でJR東日本グループに辛勝したフォーリーフジャパンと、準決勝戦まで無敵、無敗で勝ち進んだヤックスケアサービスの一戦となった。

フォーリーフジャパン3	-	0	ヤックスケアサービス
(先鋒) 松本 薫 2段	大外刈		橋本 奈実 3段
(中堅) 川上 由貴 3段	崩袈裟固		相澤 実希 2段
(大将) 立山 真衣 3段	合せ技		島本 裕子 2段

先鋒戦。世界選手権大会代表の松本は、右組みで橋本をがっちり押さえる。ここまで寝技でオール一本勝の橋本は受けの姿勢でこれに対す。中盤に差し掛かり、寝技でタイムの後、組み手争いから低いところを掴んだ松本は、押しながら大外刈で足を掛け、橋本を更に後方に押し進めると、橋本はよろける様に背中から倒れ込む。1分27秒、一本でフォーリーフジャパンが先制。

中堅戦。試合開始早々から、川上は積極的な柔道で相澤を翻弄。37秒に指導1を奪った後、左釣手で相澤の片襟を持ち抱えるようにしながら48秒小内刈で倒し有効、56秒にそのまま袈裟固で抑え込み、その後、崩袈裟固（後袈裟固）に移行。がっちり抑え込んで、フォーリーフジャパンの二連覇達成を果たす。

大将戦。開始早々、体躯に勝る立山は両襟を掴んだ右自然体から内股で無造作に島本を転がして技ありを奪い、そのまま袈裟固でがっちり抑え込む。34秒に20秒が経過して合せ技一本。フォーリーフジャパンはオール一本勝でチームの二連覇に花を添える。